

No. C02	まっちゃん	年月日	令和5年2月2日(月)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在、営業事務として働いていたが、急に上司から営業職として昇進しないかという提案を受けた。突然でビックリしたと同時に営業事務が向いていると思っていた為、どうしようか迷ってしまい相談に来た。

1行目：良かった点、2行目：悪かった点

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

(良) 相談者を受容する態度と質問を継続し、相談者が抱えている営業事務への思いを聴くことができた。

(悪) 相談者に話して頂いた内容を十分に把握できず、焦点を変えた質問を行った為、事実や感情の理解が遅れた。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者の問題は以下の2点が考えられる。(1)この会社の営業職としての仕事内容に関する理解不足。(2)相談者自身が持っている仕事に対する価値観についての自己理解不足。

②その根拠 根拠は以下の2点である。(1)営業事務として営業をサポートする仕事の経験はあるが、営業としての仕事については、十分に理解していない可能性がある為。(2)昇進を望んでいたことについて、同期と共に頑張ってきたという発言から、どうして昇進したいのか、理由が主体的ではないという点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

営業事務として頑張ってきた相談者を労いながら、営業事務の仕事に対するご自身の考えや営業の仕事に対して感じていることを丁寧に傾聴していく。その上で、上司や同僚に営業の仕事に対して相談することを促し、この会社での営業職の仕事について理解を深めてもらう。また、ジョブカードの職務経歴シートを紹介し、その作成を通じてこれまでの経験の棚卸しを促し、自身の仕事に対する価値観についての理解を促進する。さらに、把握したスキルと営業の仕事につながる点がないかについて検討して頂く。以上により、相談者が自身の基準を持ち上司の話を受けるべきか主体的に意思決定できるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙